

ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿 (HRS鈴鹿) 2023年度 Moto Class・Kart Class修了記念走行および 修了式・交流会のご報告

拝啓 寒冷の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿 (HRS鈴鹿)」ではHRS鈴鹿Moto Class・Kart Classの2023年度修了記念走行および修了式・交流会を12月24日(日)に行いました。この修了記念走行と修了式・交流会をもって2023年度の全カリキュラムが無事終了いたしました。これもひとえにご協賛・ご協力いただきました各社の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ここに開催のご報告をさせていただきます。

2024年度もHRS鈴鹿では世界に通用するライダー・ドライバーの育成を目標に活動を続けてまいります。引き続きご理解・ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

2023年12月

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2023年度 HRS鈴鹿Moto Class・Kart Class修了記念走行／修了式・交流会 開催概要

■日時： 2023年12月24日(日)

■概要： 修了記念走行 … 南コース(1.264km)

修了式・交流会 … レーシングコース ピットビル2F ホスピタリティラウンジ

■参加：

<HRS鈴鹿Moto Class (ベーシックコース／アドバンスコース)>

Principal／岡田忠之

Director／田村圭二

Instructor／野田弘樹・上田昇・宮崎祥司・亀谷長純・高橋裕紀・山本剛大・岡崎静夏・出口修・太田雄・岡田秀之

Physical Trainer／植田尚吾

<HRS鈴鹿Kart Class (ベーシックコース／アドバンスコース)>

Principal／佐藤琢磨

Vice Principal／中野信治

Director／服部弘光

Chief Mechanic長島哲也

Instructor／佐藤蓮

Support Driver／野村勇斗

Physical Coach／鎌田貴

※以上敬称略

HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース受講生：13名・アドバンスコース受講生：5名

HRS鈴鹿Kart Classベーシックコース受講生：12名・アドバンスコース受講生：2名

HRS鈴鹿Formula Classスカラシップ獲得者：2名



気温・路面温度ともに低い中、最終カリキュラムを実施 タイヤコントロールを学ぶ絶好の機会となった

3月27日(月)に行ったHRS鈴鹿Moto Class・Kart Class合同による入校式。その日から約9ヶ月を数え、12月23日(土)・24日(日)の2日間に渡る走行トレーニングが2023年度の最終カリキュラムとなりました。

初日である12月23日(土)はKart Classの走行から始まりました。7分間と5分間のフリー走行の後、5分間のタイムトライアルを行い、その後10ラップのセット走行(①)、16ラップのセット走行(②)、①の結果のリバースグリッドによる10ラップのセット走行、②の結果のリバースグリッドによる10分間+2ラップのセット走行を行いました。

また、Moto Classでは45分間と15分間のフリー走行の後、15分間の計時予選を実施。そこでのベストタイム順にグリッドに並び、20ラップのセット走行を行いました。

寒いこの時期は路面温度も低く、タイヤが温まりにくい。ため、両Classともに慎重に走行をスタート。路面コンディションをしっかりと確認することを徹底しました。また、Kart Classではどのようなレース距離でも最初から最後まで集中力を保つことを目的に多様なラップ数のセット走行を行いました。

Moto Classでは野田弘樹、高橋裕紀、山本剛大、出口修の各Instructorが、Kart Classでは佐藤蓮Instructorに加え、HRS鈴鹿Kart Class・Formula Classアドバンスの修了生で、「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト(HFDP)」の育成ドライバーとして2023年FIA-F4選手権に参戦した野村勇斗選手が同時走行。また、Moto Class岡田忠之Principal、Kart Class佐藤琢磨Principalはじめ、各Instructorがコースサイドで候補生のドライビングを確認。走行後にきめ細かなアドバイスをさせていただきました。



人間もマシンも始動に向けてのウォームアップは極めて重要だ(HRS-Moto Class)

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EAR PEACE

 EIKO
Glory of Karting

 HRC
HONDA RACING

 ENKEI

 ENDLESS
Challenge to the Future

 EXGEL®
HYPER SPORT

 FUBINUMI
HAMAMATSU

 Sabell

 CCI
CO-OPERATION

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 sparco

 DUNLOP

 ThreeBond

 ThreeBond

 IGNY/KARL
RACING

 NGK
SPARK PLUGS

 HEPHAIST

 BRIDGESTONE

 ODYSSEY
RACING PARTS

 PROTEX

 PETRONAS

 MOTUL

 rizoma

 RIVAUX
RACING PARTS

 WAKOS

最終カリキュラムはレース形式での走行が中心 Kart Classでは受講生が予選、決勝ともにトップチェッカー

最終日の12月24日(日)もまずは全体ミーティングを実施。このミーティングの中では最後のカリキュラムに臨む受講生に向け、Moto Class岡田Principal、Kart Class佐藤Principalをはじめ、各Instructorから激励の言葉が掛けられました。

路面コンディションを確認しながら南コースをランニングして身体をウォームアップした後、いよいよ最後の走行トレーニングへ。この日もKart Classの走行から始まりました。

10分間のフリー走行の後、7分間のタイムトライアルを行い、そこでのベストタイム順にグリッドに並んで10ラップによる予選ヒートを行いました。この予選ヒートでは野村選手がホールショットを奪うと、野村選手、アドバンス受講生の箕浦稜己、ベーシック受講生の小野原悠のオーダーでオープニングラップを終了。2周目の最終コーナーで箕浦が野村選手をパスしてトップに立ちましたが、すぐに野村選手が再びトップに。その2台の後方ではベーシック受講生の中井悠斗が積極的な走りを披露し、野村選手、箕浦に続く3番手まで浮上。その中井(悠)が6周目の最終コーナーでトップに。8周目の1コーナー進入で野村選手がトップに返り咲くと、その後も6台ほどがトップグループを形成し、激しいバトルの末、箕浦が予選ヒートを制しました。

続いて予選ヒートのチェッカー順にグリッドに並び、修了記念走行を行いました。鈴鹿選手権の決勝レース距離を想定し、16ラップに設定したこの修了記念走行ではポールポジションスタートの箕浦がホールショットを奪うと、そのままトップでオープニングラップを戻ってきましたが、2周目の1コーナー進入で佐藤(蓮)Instructorが箕浦のインに入り、トップに。その2台に野村選手、ベーシック受講生の酒井涼、中井(悠)を加えた5台がトップグループを形成。終盤、箕浦と佐藤(蓮)Instructorのバトルに野村選手が加わり、箕浦にとっては経験豊富な先輩ドライバーを従える展開になりましたが、箕浦がトップの座を守り切り、予選ヒートに続いて修了記念走行でも優勝を飾りました。



Kart Classの最終日の走行では9ヶ月間におよぶ走行トレーニングの成果がそこかしこで披露された。

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EAR PEACE

 EIKO
Glory of Karting

 HRC
HONDA RACING

 ENKEI

 ENDLESS
Challenge to the Future

 EXGEL®
HYPER SPORT

 FUBUKI
HAMAMATSU

 Sabell

 CCI
CO-OPERATION

 SHIBA UNING JAPAN
advanced technology products

 sparco

 DUNLOP

 ThreeBond



 IGNY/KARL
23 24 25 26 27 28

 NGK
SPARK PLUGS

 HEPHAIST

 BRIDGESTONE

 ODYSSEY
EXERCISE EQUIPMENT

 PROTEX

 PETRONAS

 MOTUL

 rizoma

 RIVAUX
RIVAUX JAPAN

 WAKOS

Moto Class修了記念走行でも受講生が積極的な走りを披露 それぞれの走行後には、本番さながらの表彰式も実施

Moto Classの最後の走行トレーニングは20分間のフリー走行からはじまりました。この走行で路面コンディションを確認した後、23日(土)に行ったセット走行のチェッカー順にグリッドに並び、修了記念走行を行いました。

2輪レースの決勝レースを想定し、20ラップに設定したこの修了記念走行ではポールポジションからスタートしたベーシック受講生の片田泰志が良いクラッチミートを披露してホールショットを奪うと、その片田とベーシック受講生の戸高綸太郎がテールtoノーズの状態に。何度も順位を入れ替えるバトルを展開したその2台をアドバンス受講生の豊田哲慎がパス。

豊田は片田と戸高の2番手グループ以降を引き離す構えを見せませんが、片田、戸高、さらには17番グリッドからのスタートながら、周回ごとに着実に順位を回復した山本Instructorが豊田に接近。片田と戸高をパスした山本Instructorが豊田をもパスすると、そのままトップチェッカー。アドバンス受講生の竹本倫太郎も片田と戸高をパスし、2位でチェッカーを受けました。

この修了記念走行では終盤にアドバンス受講生同士の豊田と竹本が激しいバトルを展開。最後まであきらめない竹本の走りが印象的でした。

白熱した修了記念走行後には本番さながらの表彰式も実施。各スクール上位3名の受講生に岡田・佐藤の両Principalから記念トロフィーが授与されました。



Moto Classの修了記念走行でも最初から最後まで白熱したバトルが展開され、集中力が長くキープできることが証明された。





修了記念走行後の表彰式
 (HRS鈴鹿Moto Class:上/優勝:戸高輪太郎、2位:長谷川蒼馬、3位:片田泰志)
 (HRS鈴鹿Kart Class:下/優勝:箕浦稜己、2位:中井焯斗、3位:酒井涼)





ともに学び、ともに成長したライバルたち、Principal、Instructorの皆さんとともに
 (HRS鈴鹿Moto Class:上/HRS鈴鹿Kart Class:下)





走行前後のメンテナンスは、受講生にとって極めて重要なルーティンワーク (HRS鈴鹿-Moto Class)



世界のトップカテゴリーでの経験を伝えるPrincipal. この貴重な機会は逃さないだろう。



3月の入校時と比べて精悍さを増した受講生32名 誇らしげな表情で臨んだ修了式

2日目のカリキュラム終了後は、レーシングコースピットビル2階のホスピタリティラウンジへと会場を移し、HRS鈴鹿Moto Class・Kart Classの合同による修了式を行いました。この修了式には主役であるMoto Classベーシックコース(13名)・アドバンスコース(5名)、Kart Classベーシックコース(12名)・アドバンスコース(2名)の受講生たち合計32名が参加しました。

まず、ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキットモータースポーツ部レーシングスクールセンター所長の荒川基之より開会の挨拶。その後、株式会社ホンダ・レーシング(HRC)取締役企画管理部部長の長井昌也様よりご挨拶をいただき、さらにMoto Class岡田Principal、Kart Class佐藤Principalよりコメントをいただきました。そして、岡田・佐藤の両Principalより、それぞれのスクールの受講生たちに手ずから修了証が授与されました。

また、HRS鈴鹿-Moto Classの2023年度スカラシップ生として竹本倫太郎を選出したことを発表。竹本は2024年のIDEMITSU ASIA TALENT CUP(イデミツ・アジア・タレント・カップ)シリーズに参戦します。

さらに、去る11月29日(水)に行ったHRS鈴鹿Formula Classスカラシップ最終選考会で2023年度スカラシップ獲得者に選ばれた加藤大翔と洞地遼大を紹介しました。二人はHondaのドライバー育成プロジェクト「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト(HFDP)」の選出ドライバーとして2024年FIA-F4選手権に参戦し、さらなるステップアップを目指すこととなります。

日程の最後はピットビル2階のホスピタリティラウンジへと移動し、4年ぶりにスクール全体で懇親する「交流会」で締めくくりました。首席でスカラシップを獲得した加藤が乾杯の首領を取り、交流会がスタート。受講生たちはともに学んだライバルたちやお世話になった各Instructorと歓談を楽しみ、親睦を深めました。これをもって9ヶ月間・延べ26日間におよんだHRS鈴鹿Moto Class・Kart Classの2023年度の全カリキュラムが無事終了いたしました。

F1世界選手権に参戦する角田裕毅選手(2016年度修了)、Moto3で活躍する古里太陽選手(2019年度修了)らを始めとし、国内外で活躍する卒業生たちに続くライダー・ドライバーが現れることに期待が集まっています。

今後もHRS鈴鹿の活動、そしてHRS鈴鹿の卒業生たちの活躍にご注目願います。



それぞれの夢や目標を抱え、修了式に臨む受講生たちの表情は入校式の時より精悍だ。



●2023年度 HRS鈴鹿Moto Class・Kart Class各Principalのコメント●

◇HRS鈴鹿Moto Class岡田忠之Principal◇



「初日よりも若干条件が良い中で修了記念走行を開催することができました。今回はアドバンス受講生にも参加してもらい、いつものように講師陣にもいっしょに走ってもらいました。その中で良い成績を出しに行こうとする受講生たちの姿を見ていました。表彰式を見て感じたのですが、Kart Classの受講生で笑っている受講生はおらず、皆真剣な表情でした。それに対し、Moto Classの受講生はまだまだプロフェッショナルとしての意識が足らず、上達したいという欲が感じられませんでした。人生の中で、レース人生というのは本当に短く、一瞬です。常に欲を抱き、もっともつとがむしゃらに挑戦してください。今後どのような分野に進むことになったとしても頑張ってください」と思います」

◇HRS鈴鹿Kart Class佐藤琢磨Principal◇

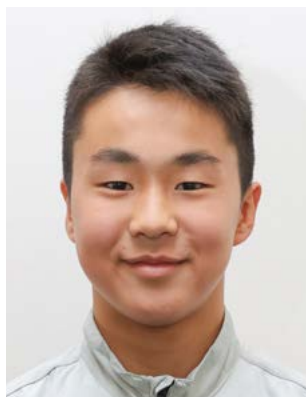


「修了記念走行は見ていて興奮する展開になりました。特に予選ヒートはすごい展開でした。あのような挑戦をこれまでももっともつと見たかった。あれだけ挑戦できるのであれば、もっと前からできたはず。自分ができることを繰り返していても成長はありません。常日頃限界までプッシュすることが大切なのです。また、自分がどのような夢や目標を持っているのかを改めて考え直して欲しいと思います。自分の夢を周りと共に共有すること、夢を口に出すことが大切です。目標を実現するのに大切なのは期限です。“あんなことができたなら良いな”と考えるのはただの妄想です。“いつまでにこうなりたい。そのためにはこの時期までにこうしなければならない”と期限を定めた時点でそれは妄想ではなくなります。一気に階段5段跳びは無理ですが、一段ずつに分ければ上がっていくことは可能です。まずはやらなければいけない目標を設定してください。その目標を達成する期限を自分で設け、そしてその目標を周りと共に共有する。この2つで夢の達成はぐっと近くなると思います。ライダー、ドライバーには求心力が必要です。良い環境を手になければ自分の実力を発揮することができません。そのためには自分がどうありたいのかを周りに話すことが必要です。それが自分自身へのコンパスにもなりますし、周りからのサポートを受けられる可能性も広がるのです。人は一つずつ目標を達成していく過程で自信を身につけることができます。なのでいろいろな挑戦を続けることが大切です。今後さらに成長して欲しいと思います」



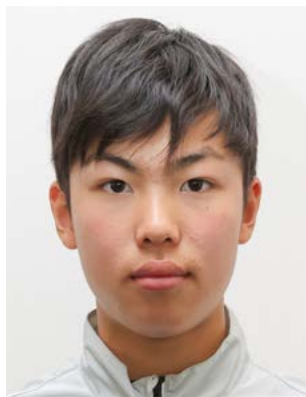
●2023年度 HRS鈴鹿Moto Class・Kart Class受講生のコメント@交流会●

コロナ禍の数年は実現不可能だったスクールに関わる人々の懇親の場。今年は、「交流会」と銘打ち、久々に開催されました。その中で、HRS-Moto Class、Kart Classの何人かに最終カリキュラムの印象から来年目指すところを聞いてみました。



◇HRS鈴鹿Moto Classベーシックコース受講生◇
片田 泰志(13歳)

「23日(土)のセット走行では全体2位、今日の修了記念走行では思った走りができなかったですが、自分の成長を感じることはできました。HRS鈴鹿は3年目で、1年目、2年目以上に吸収するものが多かったと思います。ここでの経験を今後のレースに活かし、さらに成長していきたいです」



◇HRS鈴鹿Moto Classアドバンスコース受講生◇
竹本 倫太郎(15歳)

「今年はアドバンスに昇格し、レース専用車両のNSF250Rに乗ることになりましたが、最初は全然うまく乗れませんでした。講師陣にたくさんの質問をした結果、少しずつ速く走ることができるようになりました。来年参戦するIdemitsu Asia Talent Cupシリーズが今から楽しみです。初戦から良い成績を残し、チャンピオンを目指します!」



◇HRS鈴鹿Kart Classベーシックコース受講生◇
中井 悠斗(13歳)

「1年目は速く走ることができず、2年目の最初も同様でした。それでは成長していないと思い、積極的に講師陣に相談したところ、自分の課題がわかり、速く走ることができるようになりました。今回の最終カリキュラムでも初日から思っていた走りができ、人間性の面も含め、成長を感じることができました」



◇HRS鈴鹿Kart Classアドバンスコース受講生◇
箕浦 稜己(14歳)

「1年目はクリーンなレースができず、自分でも荒削りの走りだと感じていました。2年目の今年は徐々に改善でき、自分が理想とするレース運びができるようになったと思います。来年はFormula Classにステップアップしたいと考えています。そして首席で修了し、スラシップの獲得が目標です」

